

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
神経内科学			(リ) 必修 (人) 選択	2	(リ・人・24) 2 (人 25・) 2.3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
山本 泰宏		C302	Yasuhiro_yamamoto		水曜日 12：00～13：00	
授業の目的・概要		理学療法・作業療法の主要な対象である神経内科領域の疾患の病態を学び、科学的根拠に基づいた理学療法・作業療法を行なうための基礎を学ぶことを目的とする。 主要な神経疾患を学び、なぜそのような障害があるのか、どのように治療したらよいのか考える基礎を重点的に講義する。				
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)	☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技	☐ PBL ☐ 反転授業 ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ その他（ ）	☐ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク	
学習上の助言		神経系について、解剖学・生理学の教科書で予習・復習を繰り返すこと。				
教科書		標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 第6版/ 編：川平 和美/ 医学書院/ 2024				
参考書		ベッドサイドの神経の診かた 第18版/ 著：田崎義昭 他/ 改：坂井文彦/ 南山堂/ 2016				
外部教材		なし				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	主な神経疾患の病態の理解と、その説明				HSU(1)～(6)	
②	主な神経疾患の症状と診断の理解と、その説明				HSU(1)～(6)	
③	主な神経疾患の治療の理解と、その説明				HSU(1)～(6)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等			授業の方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	序論・神経学的診断法（1）神経系の解剖、神経学的診断と評価、検査法を学ぶ			講義	教科書 P13～31 を予習・復習	4
2	序論・神経学的診断法（2）前回の続き			講義	教科書 P34～66 を予習・復習	4
3	神経症候学（1）：意識障害、脳死、頭痛、失神、運動麻痺など			講義	教科書 P68～85 を予習・復習	4
4	神経症候学（2）：錐体路徴候、錐体外路徴候、不随意運動、運動失調、感覚障害など			講義	教科書 P86～103 を予習・復習	4
5	神経症候学（3）：高次脳機能障害（失語、失認、失行）など			講義	教科書 P104～133 を予習・復習	4
6	神経症候学（4）：高次脳機能障害（記憶障害、注意障害、遂行機能障害）など			講義	教科書 P134～148 を予習・復習	4
7	神経症候学（5）：構音障害、嚥下障害、頭蓋内圧亢進、髄膜刺激症状、脳ヘルニアなど			講義	教科書 P149～166 を予習・復習	4
8	神経疾患各論（1）：脳血管障害：分類、症状など			講義	教科書 P168～176 を予習・復習	4
9	神経疾患各論（2）：脳血管障害：診断、治療など			講義	教科書 P176～197 を予習・復習	4
10	神経疾患各論（3）：脳腫瘍、外傷性脳損傷、脊髄疾患など認知症の原因、分類、症状など			講義	教科書 P198～230 を予習・復習	4
11	神経疾患各論（4）：変性疾患・脱髄疾患の分類、症状、診断など			講義	教科書 P247～259 を予習・復習	4
12	神経疾患各論（5）：錐体外路の変性疾患など			講義	教科書 P260～268 を予習・復習	4
13	神経疾患各論（6）：末梢神経障害、てんかん、筋疾患など			講義	教科書 P278～294 を予習・復習	4
14	神経疾患各論（7）：その他の疾患			講義	教科書 P295～308 を予習・復習	4
15	神経疾患各論（8）：脊髄の疾患			講義	教科書 P212～226 を予習・復習	4

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

試	定期試験（筆記）			
---	----------	--	--	--

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント			フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点		
試験	①	✓	講義の内容を理解して身につけているか期末テストにて評価する。 試験の注意点については講義内で説明する。	希望者には答案を返却する。 模範的解答例を公開する。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考	
他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	臨床医として40年の臨床経験
実践的授業の内容	疾患についての病態を解剖学・生理学の知識と結びつけることを重点的に行う。
そ の 他	授業日程、内容、時間などが諸所の事情により変更される可能性があるので、Teamsでの投稿に注意すること。